

富士重工業が認め、真のスバリストが選ぶ
TOTAL製プレミアムエンジンオイル

『レ・プレイヤー ZERO 0W-30』

F1、WRCをはじめ、数多くのモータースポーツチームに高性能オイルを供給し、その評価を得ているTOTAL（トタル）。そのトタルがスバル純正プレミアムオイルとして製造・供給しているのが「レ・プレイヤーZERO」である。発売以来使用ユーザー数が伸び続けているというプレミアムエンジンオイルの実力を、スバル部品用品本部で純正エンジンオイルを担当する二人のキーマンにうかがった。



スバリストであれば、ご存知であるようにプレミアムエンジンオイル「レ・プレイヤーZERO」の誕生は2012年まで遡る。このエンジンオイルの位置づけは、データーがお奨めするプレミアム純正オイルというものだ。一般にエンジンオイルは、鉱物油に代表される廉価品から、中間グレードの部分合成油、最高品質の全化学合成油があり、その中でもモーターレーシングなどに特化したプレミアムオイルがあるといった様に区別される。その中でプレミアムに分類されるオイル群は、たしかにレースやサーキット走行などで実績があり、積極的に選びたいくなるものだが、自動車メーカーが性能を確認した純正品のような各種テストを受けているわけではないという点で信頼性が気になるというユーザーもいることだろう。また多くのプレミアムオイルというのはハイパフォーマンス車向けに特化している傾向にあり、燃費性能を考慮していないきらいもある。その点において、純正プレミアムオイルという独自のポジションに立つ「レ・プレイヤーZERO」は多くの面でアドバンテージを持っている。たとえば一般的な市販オイルというのは、APIやACEA等の試験を持って、あらゆるエンジンへ推奨できるとしていることが多い。しかし、「レ・プレイヤーZERO」に

たのは、世界4位の石油資本大手

ツチする稀有な存在だ。
 そして、このオイルを生み出したのは、世界4位の石油資本大手



スバル純正プレミアムオイル「レ・プレイアドZERO」についてお話をうかがったスバル部品用品本部国内部品部促課の笠島秀文課長(左)と川口貴充さん(中)、トタル・ルブリカンツ・ジャパンの三浦智幸さん(右)

「スーパーメジャー」のトタルである。F1やWRCなどといった世界選手権モータースポーツで培われたノウハウを活かし、多くの新車充填オイルや一般市販オイルを生み出している。

「レ・プレイアドZERO」については、0W-30という低粘度設計でフリクションを低減することにより、オイル交換だけで十分に違いを感じる事ができるだけのレスポンスの鋭さを示すという。また、耐熱性に強くレス用オイルにも使用される100%化学合成油「PAO(ポリαオレフィン)」をベースオイルに使用する他、高温時にも粘度低下が少ない特長を有して、高温状態では一般的な5W-40と同レベルの粘度を保持しており、一般的な0W-30と比較しても高温時の油膜が20%も厚くなっているためターボ装着車種でもエンジン保護性能面での心配は全くないという。もちろん、スバル技術本部で厳しいエンジン試験をクリアしているオイルなので、その性能は折り紙付きであり、最新のパフォーマンスターボであるFA20DITはもちろん、EJ20ターボとのマッチングに優れていることは言うまでもない。

以前は、ハイパワーターボにおいてエンジンオイルの粘度を高くしておくというのは、高出力時の

燃料冷却(ガソリンの気化潜熱によって燃焼室を冷やすこと)によってエンジンオイルが希釈されてしまい、高温状態でも重なって粘度が柔らかくなってしまふことを考慮して安心のため硬めにしておく場合が多かった。しかし、近年のターボエンジンでは制御がきめ細やかになったことなどもあり、それほど燃料希釈を気にせずともよくなった。同時に燃料希釈に対する添加剤などの進化もある。そもそもエンジンオイルが硬いということはフリクションであり、燃費悪化につながるだけでなく、パワーロスにもなってしまふ。つまりハイパフォーマンスエンジンでもメーカーの性能確認が取れている純正オイルの中から低温状態では流動性に優れ、高温状態になっても粘度低下の少ないオイルを選ぶことが超低温域から超高温域の全域に渡ってエンジンを保護する最善の選択といえる。

このようにパフォーマンスだけでなく、かといって環境性能だけでなく、いずれの要求性能も高いレベルで満たしているのが「レ・プレイアドZERO」なのだ。そして、スバリストへのその性能の満足度と認知度の広がり、今なお大幅な販売の伸びを続ける程の大人気に繋がっている。実際ユーザーからは、「滑らかで爽快なフィーリングが体感できる」、

「エンジンオイルなんて何を使っても大差ないと思っていたが間違っていた」、「もっと早く使用すれば良かった」、「二度使うと満足度が高い」、「冬季の始動性に優れている」といった声が、販売現場からは「非常にリピーターが多い」という報告が届いているという。決して安いオイルではないが、価格以上の満足度があるからこそリピーターするユーザーが多いのであろう。世に素晴らしいプロファイルを持つエンジンオイルは数多い。しかし、実際にスバルという自動車メーカーが認めているプレミアムオイルとなれば「レ・プレイアド」に絞り込まれる。だからこそ熱心なスバリストに支持されているのだらう。



ターボからNAまでオールシーズン対応



「レ・プレイアドZERO」はスバルディーラーのみで取扱い
 耐熱性の高いPAOをベースオイルにし、0W-30の省燃費性と5W-40相当のエンジン保護性能を両立した「プレミアム純正オイル」というコンセプトで開発され、純正オイルとしてスバルの厳しいテストもクリアしている「レ・プレイアドZERO」は、スバルディーラーでしか手に入らない、まさにスバル車のための高性能エンジンオイルだ。
 「SUBARUお得意で安心 点検パック」のオイル交換付きタイプにご加入いただいている場合は、オイル交換時(新車1カ月、6カ月、12カ月、車検)にスタンダードオイルとの差額の数千円プラス(ディーラーによって異なります)でアップグレードが出来るため、100%化学合成油としては、破格の値段を実現している。
 詳しくは、お近くのディーラーまでお問い合わせください。

レ・プレイアドZERO

●ベースオイル: 100%化学合成油 ●SAE粘度: 0W-30 ●ACEA規格: A3/B3、A5/B5

レ・プレイアドスペシャルサイトwww.plelades-zero.com